

漆桶

Shittsu

Isshin Oshita

大下一真歌集

『漆桶』は、禅門の読み慣
わしでは《しつう》。本来
の意味はうるしを入れる
桶であり、転じて、まっくら
でなにもわからないこと
や、仏法についてなにもわ
からない僧、または妄想、
執着の譬えである。

（後記「より」）

現代短歌社